平成29年度　夷隅っ子アンケート（下半期・教職員）　集計票

18人　　回収率　100%

番号	項目	4	3	2	1	計
1	登校	12	6	0	0	18
2	子どもの相談	14	4	0	0	18
3	教職員	14	4	0	0	18
4	家庭連絡	12	6	0	0	18
5	子ども理解	16	2	0	0	18
6	学習	6	12	0	0	18
7	雰囲気	13	5	0	0	18
8	教育環境	2	11	5	0	18
9	家庭教育	1	14	3	0	18
10	地域活動	2	15	1	0	18
						0
	合計	92	79	9	0	180

◆自由記述

・廊下、トイレ、特別教室、教育施設等、不便な面がある。少しでも効率的に良い状態で使えるように努力したい。

・家庭でのしつけや基本的生活習慣の注意は、家庭によって差は大きい。全体として見たときは（3）だが、顔を洗ってこない子や朝食を食べてこない子などいて心配である。

・養育能力の低い家庭が見られる。関係機関とのケース会議を定期的に開催しながら、対応していく必要がある。

〔考察〕

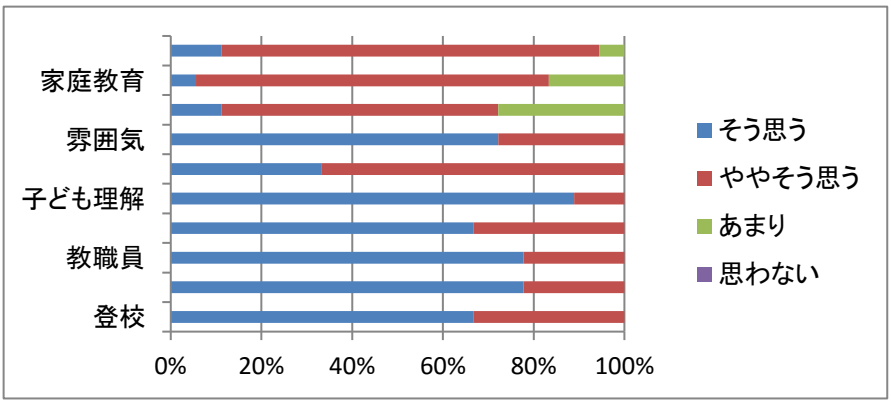
〇1，2，3，4，5，7が概ね良好である。

全職員が目の前の子どもたちの学習・生活指導はもちろん保護者や地域への対応等、校務に全力で取り組んでいることがわかる。その結果として，職員と子どもとの良好な人間関係が築かれており，子どもたちが安心して登校できる教育環境を整えることができている。また，学校や学級の雰囲気も良く、情報発信も含め家庭との連携も図れている。

〇やや課題があると捉えているのが6，8，9，10である。

統合初年度ということで，地域の校外学習や地域の人材活用がやや不十分であったと思われる。次年度に向け、職員自身が学区内のことを把握していく必要がある。

教育環境については、新校舎建設が予定されているので，整備が難しい側面がある。現状をよりよい形で使用していけるように，学校でできる整備には、今後もしっかりと対処していきたい。

家庭教育については，満足できる状況ではないと感じている職員が多い。個人差や家庭の差は大きいと考えるが、家庭教育支援にも引き続き取り組んでいく必要がある。学級懇談会、ミニ集会等でも啓発を図っていきたい。

子どもと地域のつながりについては、学校行事やPTA活動をとおして，学校でも積極的に啓発していきたい。また、協力・貢献できる点はしていきたい。